

併設型中高一貫教育導入が正式に決まりました。（7月26日県教委発表）

発表された主な内容は次のとおりです。

## 1 第一次導入校について

### (1) 対象校

地 区	導入校	併設中学校 1学年の学級数	併設中学校から進学可能な 高校の学科
名古屋	明和高等学校	2学級	普通科・音楽科（※）
尾 張	津島高等学校	2学級	国際探究科（普通科から学科改編）
	半田高等学校	2学級	普通科
三 河	刈谷高等学校	2学級	普通科

※明和高等学校音楽科は、5～10人程度の少人数による中高一貫教育を導入。

### (2) 併設中学校の開校時期 2025（令和7）年4月開校

### (3) 中高一貫教育導入のねらい

様々な人々と協働しながら、答えのない社会的な課題に対して、失敗を恐れずにチャレンジし、創造的に解決する「チェンジ・メーカー」（※）として、これからの愛知・日本・世界を切り拓き、支える人材を育成します。

※チェンジ・メーカー：経済社会が大きく変化する中、決まった答えのない社会的な課題を自分事としてとらえ、課題解決にチャレンジし続ける人。いわゆる「社会に変化を起こす人」のこと。

### (4) 教育内容

#### ア 探究学習について

大学や企業と連携して、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の探究的な学びを中心に、幅広く中学校段階から探究学習に取り組みます。

#### イ 教科学習について

中学校段階では、少人数・習熟度別指導により、基礎基本の定着を図りつつ、中学校と関連の深い高等学校の学習内容に中学校段階からしっかりと触れることで、より深い学びに取り組みます。

(5) 併設中学校の教員配置

中学校教員と、中学校の免許をもつ高等学校教員を配置します。

(6) 入学生徒の選考方法

ア 適性検査

出題は、小学校学習指導要領の範囲内とし、思考力、判断力、表現力、課題解決力等を総合的に測ります。

(適性検査のサンプル問題は、2023年度に公表予定)

イ 面接

中高の6年間学び続ける意欲や志望動機、適性、コミュニケーション能力などを見ます。

ウ 調査書

小学校5・6年生の内容を、点数化はせず、入学者決定の際の参考として見ます。

(7) 併設中学校の通学区域(学区)

学校名	学 科	学 区
刈 谷	普通科	三河学区(調整区域として、大府市・豊明市・知多郡東浦町を含みます。)

上の県教委から発表された内容をもとに、2025年4月からの中高一貫教育導入に向けて、校内においても検討、準備をしております。

令和4年8月24日 校長 坪井基紀